ハンセン病市民学会

第 18 回 総会・交流集会 in 北海道

２０２４年　５月１１日（土）かでる２・７（北海道立道民活動センター）
５月１２日（日）かでる２・７（北海道立道民活動センター）
＊会場は車イス対応で身障者用トイレもあります。

主催　ハンセン病市民学会
共催 「第 18 回ハンセン病市民学会全国交流集会 in 北海道」開催地実行委員会
後援　報道機関 (当日全表示)　外

ハンセン病問題の前で、一度でも立ち止まってみたあなた、
少しでも考えてみようと思ったあなた、
そんなあなたであれば、どなたでも参加は自由です。
ハンセン病問題には、まだまだ大きな課題があります。
私たちは今、光を見失ったかのような大きな時代のうねりの中で、
どういう社会に生きたいのか、どういう社会を願うのか、
そして私たち自身がどんな生き方を選びたいのか、
真剣に考えなくてはならない曲がり角に立っています。
ハンセン病問題は、そんな私たちの固い扉を開いていくための光であり、
一人一人の考える力、行動する力が試されている問題でもあります。
交流集会は、そんな一人ひとりが考える場であり、そんなみんなが集う場です。

会員以外のみなさんのご参加も歓迎いたします

● 参加費　全日程 2000 円　　● 大学生以下は参加費無料
● レセプション　6000 円
● 弁当　必要な方は、参加お申し込みの際、併せてご予約ください。
（当日受付はございませんので、ご了承ください。）

【参加申込方法】
◎会場参加申込先　オンライン参加申込先
参加申し込みは、下記のホームページ、または右のQRコードからお申し込みください。
なお、会場参加希望の方でホームページからの参加申込が困難な場合には
別紙「参加申込書」でお申込みください。
近畿日本ツーリスト(株)札幌団体旅行支店／**申込締切 4月15日(月)**
https://www.knt.co.jp/ec/2024/hansen_18/　電話番号　011－280－8855

● お問い合わせ先：ハンセン病市民学会事務局　06-4394-7078
● 開催地実行委員会：原総合法律事務所内　011-272-6661
（参加申込方法等に係るお問い合わせは、上記のホームページ又は 011－280－8855 まで）

第 18 回ハンセン病市民学会全国交流集会 in 北海道

■日時 ： 2024 年 5 月 11 日（土）～12 日（日）

■会場 ： かでる２・７【北海道立道民活動センター】
（ホール、研修室、各会議室）
札幌市中央区北 2 条西 7 丁目（右地図参照）
※車いす対応、障がい者トイレあり

■参加形式 ： 会場参加またはオンライン参加

■日 程 ： 5 月 11 日(土) 入門講座、総会、全体会
5 月 12 日(日) 分科会、まとめの全体会、各部会

● **5 月 11 日**（土）

10:30 11:30 12:30 13:30 14:00 14:30 17:30 18:00～

ハンセン病問題 入門講座	受 付	開会 総会		開会行事 (来賓挨拶)	交流集会（全体会）	レセプション 会費 6000 円
かでる 2・7 ８階 ８２０会議室	かでる２・７ ホール					ホテル ポールスター札幌

● **5 月 12 日**（日）

9:30 10:00 12:30 13:00 14:00

受付	分科会Ａ～Ｄ（４会場）	昼食	まとめの 全体会	各部会
Ａ かでる2･7 5階 520研修室 （定員 98 人） Ｂ かでる2･7 7階 710会議室 （定員 86 人） C かでる2･7 ８階 820会議室 （定員 134 人） D かでる2･7 10 階 1060 会議室 （定員 86 人）			かでる2･7 ８階 820会議室	かでる2･7 各会場

■パネル展･･･5 月 11 日(土)正午～5 月12日(日)午前　　場所:かでる 2･7 ロビー･ホワイエ

■入門講座、総会、全体会は要約筆記、手話通訳があります。分科会は要約筆記があります。

第 18 回ハンセン病市民学会総会・交流集会 in 北海道

全体統一テーマ　**いま、私たちが思いを伝える**

～ 北の大地で　一人ひとりがハンセン病問題の解決をめざして ～

● ５月１１日（土）　午前

ハンセン病問題入門講座（10:30～11:30）　会場：[かでる 2・7]　８階　８２０会議室

講師　：　屋　猛司（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長/市民学会運営委員）、他

● ５月１１日（土）　午後

１．開会・総会（12:30～13:30）**開場・受付** 12：00　会場：［かでる 2・7］ホール

総会　：　前年度報告、本年度活動方針　など

２．開会行事（14:00～14:20）　会場：［かでる 2・7］ホール

主催者挨拶　ハンセン病市民学会、開催地実行委員会

来賓挨拶　北海道知事　鈴木直道（予定）
　　　　　札幌市長　秋元克広（予定）

来賓紹介

３．交流集会（全体会）（14:30～17:30）　会場：［かでる 2・7］ホール

第一部「当事者にうかがう～北海道におけるハンセン病問題と療養所の課題～」（仮）

第１　当事者・家族の受けた被害

１　北海道におけるハンセン病問題につき検証会議報告書の概要の紹介

２　北海道出身の回復者が受けた被害体験

３　家族被害者の被害体験

第２　療養所にいる回復者の皆さんの現状や今直面している喫緊の課題

報告　佐藤　勝（松丘保養園入所者自治会会長）
　　　屋　猛司（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長/市民学会運営委員）

第二部「家族の『見えない差別』を可視化する
　　　―鹿屋集会映像放映問題の検証を通じて」

パネリスト　久保井　摂（ハンセン病家族訴訟弁護団）

コーディネーター　相川　翼（市民学会運営委員）

指定発言者　映像放映等の被害に遭われた病歴者家族の方々

● ５月１２日（日） 午前

１．分科会（10:00～12:30）　**開場・受付** 9：30　　各会場

【分科会Ａ】「ハンセン病問題に向けた行政の取り組み」会場：[かでる２・7] ５階 ５２０研修室

基調報告１「北海道における検証活動とその後の啓発活動について」（仮）

報告者　北海道担当者ほか調整中

基調報告２「ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施策検討会報告書」

地方公共団体における検証活動の意義（仮）

報告者　坂元茂樹（〈公財〉人権教育啓発推進センター理事長）

パネルディスカッション「ハンセン病問題への取り組みを持続していくために」

パネリスト　基調報告者

坂元茂樹（〈公財〉人権教育啓発推進センター理事長）、他調整中

コーディネーター　難波徹基（弁護士）・小笠原 至（弁護士）（予定）

【分科会Ｂ】「菊池事件―再審勝利を目指して」　会場：[かでる２・7] ７階 ７１０会議室

パネルディスカッション

総合司会　伊藤京子（菊池事件国民的再審請求人団事務局長）

パネリスト　菊池事件再審弁護団（検討中）

青木惠子(冤罪犠牲者の会)

太田明夫(菊池事件国民的再審請求人団幹事)

依頼中

コーディネーター　菊池事件再審弁護団(検討中)

【分科会Ｃ】「差別の連鎖を断つ」　会場：[かでる２・7] ８階 ８２０会議室

パネルディスカッション

報告者・パネリスト・会場指定発言者等

屋　猛司（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長/市民学会運営委員）

小島喜久夫（旧優生保護法国賠訴訟北海道訴訟原告）

多原良子（アイヌ文化伝承者、国会議員のアイヌ民族への差別投稿の申立人）

山崎　恵（ＤＰＩ北海道）

井上昌和（北海道ＨＩＶ訴訟原告／市民学会運営委員）

徳田靖之（ハンセン病国賠訴訟弁護団代表/市民学会共同代表）

コーディネーター　桝井妙子（弁護士、旧優生保護法国賠北海道訴訟弁護団）

【分科会Ｄ】「ハンセン病問題と教育　鼎談『見つめる・見直す・見届ける』」

会場：[かでる２・7]　１０階 １０６０会議室

鼎談　江連恭弘（法政大学第二中・高等学校教員、「ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施策検討会」委員）

沼田一臣（町田市立南成瀬小学校教員）

手嶋和之（元中学校教員、北海道ハンセン病問題と教育を考える市民の会「コンパス」メンバー）

● ５月１２日（日） 午後

２．まとめの全体会（13:00～14:00）　会場：[かでる２・7] ８階 ８２０会議室

司会・進行　訓覇　浩（ハンセン病市民学会事務局長/市民学会共同代表）

【部　会】（1400～）予定 ： 教育部会 、家族部会 、宗教部会・啓発資料調査部会